



音を楽ししむ生き方を

「世界の歌姫ピコソセ」

そのピコソセのバンドのキーボーディストとして、活躍している日本人女性。

佐賀市出身の彼女の名は辻 利恵さん。

身体全体を使って表現される彼女の旋律は、聴く者にメッセージを訴えかけてくる。

昨年11月、市内各所で行われたライブで彼女の演奏に感銘を受けた人も多いのではないだろうか。

今月は佐賀市から世界に羽ばたき、今なお活躍を続ける彼女に、生い立ちやピアノとの付き合い方、成功の秘訣など興味深いお話を伺った。



ピアノを始めたきっかけは？

母がピアノの先生、父が趣味でバイオリン、姉がピアノをやっていたこともあって、音楽をする環境が身近にあったことですかね。物心ついた頃には、自然とピアノを弾いていました。

子どもの時はどんな女の子でしたか？

小さい時は内気な子でしたね。お客さんが家に来ると隠れて、障子の隙間から見てみたいな(笑)
それが小学校に入って友達と関わるようになってから、鍛えられましたね。小学校高学年になる頃には活発な女の子になっていたと思います。

東京音楽大学ではクラシックを学び卒業後、渡米されますね

もともと小さい頃からアメリカに対する憧れがあり、高校卒業後、両親に「渡米したい」と相談しました。
この時、両親は「アメリカに行くのも悪くないけど、一度佐賀を出て東京で4年間音楽の基礎や社会性を磨くのもいいと思う。」
もし卒業する時まで渡米したい情熱があれば、その時は応援するから」と

道を示してくれました。
今考えると両親の決断は賢明だったと思っています。大学で学んだことや仲間の存在は今でも私の大きな支えとなっていますから。

ビヨンセの世界ツアー、ホワイトハウスで開かれたオバマ大統領招待パーティーでの演奏など輝かしい実績ですね。大舞台での演奏は緊張するかと思いますが

実は大舞台であればあるほど、不思議と緊張しないんです。人が多すぎて現実味が無いというか。お客さんと距離が離れているのもあるかもしれません。
「これまでの人生でピアノが嫌になった時期はありますか？」
ピアノの練習が嫌な時期も正直ありました。人生長いですから、いろいろな感情の波があったのも事実です。ただ、オフの時間を大切にしながら、適度な距離を保ってピアノと付き合ってきたことが、ピアノを続けてこれた要因かもしれません。

心の支えにしているものは？

「家族の存在」ですね。特に渡米してすぐの頃は辛い時期が多々ありました。そういう時は家族を思い出して自分を奮い立たせてきました。

行動のポリシーはありますか？

「人様に感謝」することを心がけています。
「今の自分があるのは回りの支えがあるからこそ」と常に自分に言い聞かせています。

今後の目標を教えてください

アメリカの仕事だけじゃなくて、日本での仕事もやりたいと考えています。また、一人の演奏家としてだけではなく、チームで取り組む音楽プロデューサー(制作)も頑張りたいと思います。
佐賀にはどの位の頻度で帰省されますか？
1年に1度は帰るようにしています。2週間じゃいろいろ行きたい所に行けないので、3週間位滞在することが多いです。

佐賀市で好きなスポットは？

玉屋から昔アーケードがあった通りを経由して松原神社まで歩くのが大好きです。昔を思い出します。
いつか時間を作ってゆっくり佐賀のまちを散策したいです。

第2の辻さんを目指して頑張っている子どもたちに伝えたいことは？

音楽は「音を楽しむ」と書きますよね。確かに、練習が辛いとか思う時期もあると思うし、それは頑張ってるかなさなといかないけれど、音楽の本来の意味を忘れないでほしいです。
音楽は楽しむもの。
例えば、先生からもらった宿題が嫌なら、自分が好きな曲を弾いてみる。音楽のレッスンにとらわれず、自分が楽しめるように音楽と触れ合ってみてほしいと思います。

夢を叶えるために大切だと思うことは？

最近、自己啓発系の本に「願えば叶う」とか「口に出していれば叶う」とか書いてありますよね。
私が学生の頃は、そんな本ありませんでしたが、振り返ると私も「絶対アメリカに行きたい」と公言したり、卒業文集に書いていました。
もちろん「ただ言えればいい」という訳ではなく、「公言することで自分の意識を高めて頑張る」ということが大切だと思います。
努力を抜きにして夢を叶えることは難しいと思います。

辻さんにとってピアノとは？

自分にとって「自然にそこにあるもの」でしょうか。体の一部と同じような感覚ですね。
無いと自分の人生は成り立たないものだと思います。

読者の皆さんにメッセージを

地元の皆さんのサポート・応援があつてこそ自分ですので、皆さんには本当に感謝しています。
佐賀市は世界に誇れる素敵なまちだと思います。
これからも佐賀市を盛り上げる一助となるように頑張りますので、一緒に佐賀を面白くしていきたいです！



辻 利恵 (Ree-A)

佐賀市木原出身
佐賀北高校芸術コースピアノ科、東京音楽大学器楽科を経て、卒業後ジャズを学ぶために渡米。パークリー音楽大学卒業後、2006年ビヨンセのツアーバックバンドオーディションに参加し、世界各国約1万人の参加者の中から見事に合格。現在もビヨンセバンドのファーストキーボーディストとして世界を舞台に活躍中。

